

陳 情 第 31 号	令 6. 11. 7 受 理
<p>(件 名)</p> <p>第3期市道バリアフリー推進計画（かごしま よかベンチプロジェクト）に係る検証と改善を求めることについて</p>	
<p>(陳情の要旨)</p> <p>現在、第3期市道バリアフリー推進計画（かごしま よかベンチプロジェクト）が進められているが、疑問に感じるが増えてきた。1日5便しかない「あいバス」の停留所に設置されているベンチは、なぜ道路に背を向けているのだろうか。人通りの少ないところに数百メートルおきに設置されているのはなぜだろうか。</p> <p>高齢者が途中で休憩するためのものにしては、日が当たり暑くて座りたくないような場所、また、交差点や病院の前など景観を楽しむことができない場所にも設置されている。観光地でもないところに設置する意味が分からない。ベンチを設置することが目的となっていないだろうか。</p> <p>設置を決めるときの会議において「設置場所をよく精査する」とのことだったが、精査されているとは思えない。「市の予算がない」と言いながら、必要性を感じないところに高額のベンチを設置する重要性が全く感じられない。</p> <p>については、設置場所を検証するとともに、災害時に役立つ「かまどベンチ」が設置されているほかの県を参考に、ベンチの種類について再考していただくよう陳情する。</p>	